

青少年育成だより

令和4年12月発行
日高町青少年対策事務局
☎ 01456-2-3722

令和4年度「少年の主張」最優秀賞（北海道知事賞）

込められた意味

江別市立大麻東中学校3年 金美伶さん

あなたは、「人と違う」事を恥ずかしいと感じたことはありますか。あなたにとって「普通」とは何だと思いませんか。

私の父は韓国人で、俗に言う「在日韓国人」です。私の「金」という苗字も父のもので。この苗字を聞いた時、多くの人は、物珍しそうな目で私を見ます。そして、何かを悟ったような顔をします。私は、それを見るたびにうんざりしました。区別されている気分で、居心地が悪かったからです。小学生の頃は、苗字をいじられることも多く、基本、笑って返していましたが、やはりいい気分ではありませんでした。友達には悪意がないことを分かっているでも「私は人と違う」「私は普通じゃない」という思いが強くなっていきました。

こうしたことが度重なり、いつからか私は自分の苗字が嫌いになっていきました。もちろん、親に話すことなど出来ませんでした。話せば、悲しい顔をさせてしまう、困らせてしまう、と分かっていたからです。

親には言わない、そう決めていたつもりでした。ですが、ある時、母に本音をぶつけてしまいました。「皆は普通の苗字なのに、どうして私は普通じゃないの？何で私だけいじられなきゃいけないの？こんな苗字なんか、嫌いだ！」言い過ぎたと思った時には、もう手遅れでした。母は、悲しそうな困ったような顔をしました。「そんな顔をさせたかった訳じゃないのに」私はすぐに後悔しました。その反面、私の中には明確な答えが返ってこなかったことに対するモヤモヤした気持ちが残りました。

何も変わらないまま、ただ時が過ぎて、私が中学生になってしばらくした冬頃でした。父がニュースを見て、

「この人、在日じゃないかな。」

と呟きました。疑問に思い、父に聞いてみました。

「どうして苗字を変える人が多いの？」

父は、少し顔を曇らせてから、話し始めました。

「昔は、今よりも差別が酷かったんだ。その名残みたいなものかな。隠すためだよ。」

父の口から、このことを聞いたのは初めてでした。そして、私に、父が中学二年生の時に書いた生活体験文を見せてくれました。

読み終えた時には、涙が頬を伝わっていました。あまりにも残酷で衝撃的過ぎる内容を受け止めきれませんでした。（～中略～）

父が日本に来てから苦勞した数え切れない程沢山のこと。これまでの父を思うと、涙は止まりませんでした。

父は淡々と話しました。

「俺は、苗字を変える必要なんてないと思っている。悪い事じゃないんだから。これから先、この苗字で嫌な思いをすることがあるかもしれない。それでも、堂々と生きなさい。」

初めて苗字に隠された父の思いを知りました。解消されることのない私の心の中のモヤモヤは、その言葉で消えました。

苗字を変えるか、変えないか。この選択に正解はないと思います。ただ、一つだけ言えるのは、父がこの選択をしてくれて、良かったということです。

私は、それ以来、隠すことをやめ、父の望む堂々とした生き方をしたい、と思えるようになりました。父のおかげで、私には他の人よりも広いルーツがあるのです。それは、何にも代えられない、私の宝物です。（～続く～）

公益財団法人 北海道青少年育成協会 機関誌「育む」
No. 29より転載

「人と違うことは何も悪いことじゃない」と誰もが言える世の中であってほしい。「人と違う」ことをマイナスに捉えるのではなく、プラスに捉えてみてほしい。違うことを気に病んだりせず、自分だけがもつ、「かけがえのない一面」と考えてみませんか、と美伶さんは結んでいます。様々な立場の人が生きやすい世の中であってほしいと思います。

令和4年度
(管内審査結果)

絆づくりメッセージ コンクール

ことは部門
最優秀賞

富川小学校6年
廣木 泰士郎 さん

声かけは、絆づくりの、第一歩

ポスター部門 **最優秀賞**



門別中学校3年
中村 心優 さん

【いじめやネットトラブルをなくそう】

いじめやネットトラブルの根絶を目指し、よりよい人間関係づくりを呼びかけるメッセージです。

いじめの根絶とインターネットの適切な利用に関する啓発活動に活用されています。

思いやりをもって人と接する社会の実現に向け、作品を創る側と観る側の意識が高まることを目指しています。



門別中学校3年
轟 心優さん

情報を正しく見極める力を

インターネットで情報を得る方法は、検索をしたり、ニュースサイトを見たり、SNSに流れてくる情報をチェックしたりと様々です。でも、人は自分好みの情報を集めるため、知らず知らずのうちに都合の悪い情報を無視したり、信じなかったりすることがないでしょうか？

そういった傾向でスマホから情報を得ようとすると、ユーザーの嗜好を分析してその人に合った情報が選別され、それ以外の情報ははじかれてしまうというネットの特性を認識しておく必要があります。また、ネット上には、ある一面だけを紹介する作為的な情報もあります。すぐに鵜呑みにせず、「他の情報」と比較したり、「情報の発信元」を確かめたりして、冷静に事実を捉え客観的に判断することが大切です。勢いや面白半分て投稿や拡散したりすることはとても危険です。



冬のスポーツ



教育長杯町民
スピードスケート大会
1月29日(日)

SNSでの事件が報道されています。使い方を家庭で考えましょう。

また、冬休み中は、子どもだけで過ごす時間が増えます。テレビの見過ぎやゲームのやり過ぎに注意が必要です。規則正しい生活習慣の確立に一声かけてください。